

全校集会校長講話 (6月25日) ～「学級懇談会より 家庭学習の取り組み方」～

今年は、梅雨らしい梅雨模様です。毎日雨が降っています。今日のような晴れの日はとても気持ちが良いですね。

梅雨については、6月の別な呼び方で去年お話をしました。2年生以上は覚えていますか。

6月の異名の「水無月」涼暮月(すずくれづき)、蟬羽月(せみのはづき)、鳴神月(なるかみづき)、松風月(まつかぜづき)、夏越月(なごしのつき)、葵月(あおいづき)、常夏月(とこなつづき)そして風待月(かぜまちつき)と、…

ところで、この言葉の意味は分かりますか。

1月行く 2月逃げる 3月去る

1月は正月があり、2月は元々28日で普通の月より短く、3月は年度末なのでやることが多い。こうしたことから、1, 2, 3月は日が早く過ぎる(やることが多いのに思うように進まない)ということを表すのが「」という表現です。

1月の「いち」の最初の音「い」を使って「いく(行く)」、2月の「に」の音を使って「にげる(逃げる)」、3月の「さん」の最初の音「さ」を使って「さる(去る)」というように言葉遊びの要素が入っている表現です。一種の頭韻(とういん)ですね。

最近、スマホやPCで意味をさっと調べる人が多くなりましたが、辞書を使い、様々な言葉が有ることなどを辞書で調べてみることはとても大事です。

校長先生も、この1月に行く、2月は逃げる、3月は去るの続きを考えてみました

4月は「知る」 5月は「動く」 6月は「苦労する」
7月は「慣れる」 8月は「はじける」 9月は「汲み取る」
10月は重ねる(10月＝じゅう＝重＝重ねる)
11月は重ねて射止める(11月＝じゅういち＝重射＝重ねて射止める)
12月はしわ寄せる(12月＝しわす＝しわよせる)

このように、「なぜだろう」「どうして」という不思議やもっと面白いことはないかなというところと調べることで学習が楽しくなります。調べる時は、インターネットだけでなく、図鑑を開いたり、お家や近所の人に聞いたことをメモしたりして、自分なりにまとめることが大切です。友達と一緒に「ああだ こうだ」と言い合いながら調べてみるのが楽しいかもしれません。

土曜日に授業参観がありました。お家の人に小塩江小の家庭学習の進め方についてお知らせしました。また、福島県で考えた「家庭学習スタンダード」もありますね。

「自主学習というをやってもやらなくてもよい学習だ」なんて自分勝手なことを家の人に言うてはいませんよね。

自分に足りないもの、もっと身につけたいものは一人一人違いますね、だから、宿題のように皆同じものをではなく、自分にあった学習を進めるとを「自主学習」と言っているのです。先日、担任の先生からお話があったように、自主学習を行うことは必ずなので「宿題」なのです。自分にあった学習、自分に合った早さで、内容で自主的に必ず取り組むようにしてください。

さて、1学期も後一ヶ月を切りました。1学期の学習のまとめにの時期です。学習のまとめ、生活のまとめ、特に友人関係(お友達の関係)のまとめ、しっかりしていきましょう。